

# PRESS LIT

Press Life Information & Technology \* プレス リッツ

2020  
冬  
vol.80



世界文化遺産とグルメ旅 vol.8  
生きている世界文化財 白川郷と癒しのグルメ旅 ..... ①

新年のご挨拶 ..... ③

豊橋飼料株式会社 代表取締役社長  
平野 正規

丸トポトリー食品株式会社 代表取締役社長  
平田 享司

丸ト鶏卵販売株式会社 代表取締役社長  
棚橋 勉

株式会社パートナーズ 代表取締役社長  
福原 康人

Report  
アメリカ穀物協会2019年  
「トウモロコシ米国視察」に  
参加して ..... ⑦

Close Up!  
FSSC22000認証について ..... ⑨



PRESS LIT プレスリッツ

2020年1月1日発行・第80号

季刊／豊橋飼料株式会社

〒441-1807 愛知県豊橋市明海町5番地の9

電話(0532)23-55660

INFORMATION



ギフトセンター  
管理栄養士 鈴木亨奈の

風邪予防  
レシピ

寒さが続き風邪を引きやすい季節です。そこで今回は、風邪を予防するために効果的で栄養豊富なあったかスープをご紹介します。

風邪予防に必要なことは菌から体を守ることや、体を温めることです。生姜には殺菌効果や血液の循環を良くする効果があります。生姜を加熱することで生成される「ショウガオール」がより体を温める効果があるといわれています。にんじんにはβカロテン、ビタミンA、ビタミンCが多くこれらは免疫力を高めてくれる効果があります。また、大根には消化酵素が含まれているため、胃腸の働きを助けてくれます。これらの食材を上手に摂取し、風邪に負けないよう気をつけましょう。

生姜入り鶏団子の  
あったかスープ



材 料 (2人前)

鶏ひき肉	180g
生姜	15g
にんじん	55g
大根	120g
しめじ	65g
酒・醤油	大さじ1/2
片栗粉	小さじ2
ゴマ油	大さじ1
水	500ml
鶏ガラスープの素	大さじ1
塩・こしょう	少々
ねぎ	適量

1 生姜の皮をむきみじん切りにする。

2 にんじんと大根は皮をむき細切りにする。  
しめじは石づきを取りほぐしておく。

3 ボウルに鶏ひき肉と刻んだ生姜、  
酒・醤油、片栗粉を入れ混ぜる。

4 中火に熱した鍋にごま油を入れ、  
2を入れ炒めたら、水、鶏ガラスープの素、  
塩・こしょうを入れひと煮立ちさせる。

5 4に3をスプーンで団子状に入れて入れる。  
蓋をして弱火で10分煮込む。

6 器に盛ってねぎを散らして完成。



編集  
後記

明けましておめでとうございます。今回の風物詩は3人で取材しました。同じ景色でも見ているもの、感じていることの違いがあり楽しむことができました。今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年です。競技だけではなく日本にある世界遺産等の文化や芸術を多くの人に知ってもらえるきっかけになるのではないのでしょうか。

編集委員一同 (鈴木基司、平松義行、加藤佳洋、長坂訓史、鈴木亨奈、田中麻美)



# 生きている世界文化財 白川郷 と癒しのグルメ旅

世界文化遺産  
とグルメ旅 vol.8



## INFORMATION

●岐阜県大野郡白川村荻町2269-1

## 荻町城跡展望台

荻町城跡は、台地西北部が断崖絶壁になっている中世の山城で、眼下に広がる白川郷合掌造り集落の眺めが格別な撮影スポットです。山々に囲まれた集落の四季折々の風景をここから楽しんでみるのがおすすめです。



## 明善寺

集落内にある真宗大谷派の寺院。文化財の庫裡、鐘樓門、本堂が合掌造りとなっている珍しいお寺です。また、岐阜県の県木であるイチイの木も植えられています。階上は郷土の民具などの資料が展示された「明善寺郷土館」として公開されています。



## 鐘樓門 県指定重要文化財

1801年延べ人数1,425人を要して建てられました。木造2階建てで、1階は寺への通路、2階に銅鐘が吊られています。屋根は茅葺きですが、1階は板庇をつけた珍しい建築物です。



## 明善寺庫裡 県指定重要文化財

徳川末期に、飛騨高山の棟梁大工と地方の棟梁大工が協和して3年をかけて完成したものです。五階建ての造りになっており、白川郷の中では一番大きな合掌造りです。大広間の囲炉裏は毎日炊いており、昔ながらの火の香りを体験することができます。上の床は煙やススが屋根裏に上がるようにすのこ状になっています。また、囲炉裏の上に吊られている板は火天（ひあま）といい、立ち上がる火の粉を消し止め、熱と煙を分散させてくれます。

## INFORMATION

●岐阜県大野郡白川村荻町679 ●05769-6-1009  
●「明善寺郷土館」入館料／大人300円、小人（小・中学生）100円

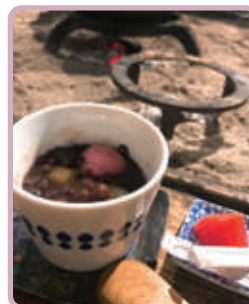


## ます園定食

にじますの刺身、いわなの塩焼き・甘露煮・唐揚げと川魚を堪能できる定食です。川魚は隣接した生簀で育てられており、新鮮で臭みが無く箸がすすみました。緑がたくさんの庭と生簀を眺めながら静かでゆったりとした時を過ごせました。

## ます園 文助

●岐阜県大野郡白川村荻町1915  
●05769-6-1268



## いろりぜんざい

ちょうど良い甘さのぜんざいは囲炉裏でことごと温められており、なんとおかわり自由。カラフルな白玉がかわいらしく、箸休めとして赤かぶの漬物が付いているので何度でもおかわりしたくなります。

## 落人

●岐阜県大野郡白川村荻町792  
●090-5458-0418



近くに案山子の撮影スポットがありました

白川郷は「合掌造り民家の特異な建築的価値」と「それらがまとまって残り、農村景観を保持しているという集落的価値」が評価され「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として1995年12月、日本で6番目に世界遺産登録されました。厳しい冬を乗り越える知恵が詰まった村で昔ながらの人々の営みを見学しました。

## 合掌造り民家とは

茅葺きの屋根が手のひらを合わせたような急こう配の山形をした建築のことで、白川郷では屋根の両端が本を開いて立てたような形の「切妻合掌造り」という様式となっています。厳しい積雪に耐え、さらに養蚕に適した環境を作り出すことが出来ます。数十年に一度「結」と呼ばれる屋根の葺き替え作業が村民総出で行われます。



ちょうど屋根の葺き替えを行っていました

## 野外博物館 合掌造り民家園



民家園入口



鳩谷八幡神社

岐阜県重要文化財指定建造物の9棟をはじめ園内には全25棟の合掌造りがあり、水車小屋、神社、寺本堂などをかつてのままに移築し保存公開しています。



県指定重要文化財



中野義盛家 内観

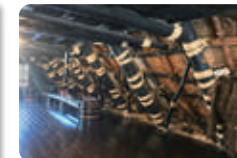
中野義盛家

## INFORMATION

●岐阜県大野郡白川村荻町2499 ●05769-6-1231  
●入園料／大人600円、小人（小・中・高）400円

## 和田家 国指定重要文化財

築後約300年が経過した今も生活が営まれ続けている白川郷の代表的茅葺き合掌造り住宅です。1階の一部と2階が公開され、和田家代々で使用された遺物や民具が展示されています。和田家は、番所の役人を勤めながら、煙硝（火薬）や生糸の取り扱いを行っていました。



## INFORMATION

●岐阜県大野郡白川村荻町997  
●05769-6-1058  
●入館料／大人300円、小人150円

## 田舎だんご

きな粉と黒ゴマの2種類がありました。どちらもたっぷりのきな粉や黒ゴマがまぶされており、塩気のある味付けで美味しかったです。温かいお団子で心もほっこります。



野外博物館 合掌造り民家園 内 売店

## であい橋

荻町地区を流れる庄川にかかる吊り橋です。駐車場と合掌造り集落を結んでいます。長さは107メートル、幅は4～1.5メートル。多くの人が渡ると揺れますが、山々の緑と庄川の風景はとてもきれいです。





# 新年のご挨拶



豊橋飼料株式会社

代表取締役社長

平野 正規



新年おめでとうございます。旧年中はお客様をはじめ沢山の皆様にお世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風・豪雨洪水などの地球温暖化による自然災害は一昨年を更に上回る状況で、台風15号・19号では、関東（千葉）を中心に畜産・飼料業界も甚大な被害となりました。災害に対する準備と災害時の早急な対応の大切さを痛感させられました。また、米中の貿易戦争・米中通商交渉等の問題、T P PやF T Aも有りました。業界的に落ち着かない状況が今も継続しています。シカゴの先物や為替の動き等は突然に予想外のテクニカルを打ち崩すファンダメンタルがしばしば出現し、私達も右往左往させられる環境でありました。

畜産物につきましては、C S F問題は業界関係者すべてに大きな爪痕を残したままの状況ですし、卵価の長期低迷にも悩まされました。台風15号の後、卵価相場は若干上昇傾向では有りましたが、売価への反映が出来なければ意味がありません。長期間に及んだ低卵価から採卵農家・G Pセンターは前年の経営成績に苦しむ結果を生み出しました。本来1円でも安くではなく、正しく生産コストを反映できる業界構造を築き上げていく事が重要と感じます。流通業界や小売販売業界も含め、新しい時代へと変わっていかねければ国内畜産の未来は中々開けては行かないと

思います。長い年月をかけて築きあげてきたものを変えるのは難しいことですが、関係している全ての人達が前述の様な負のスパイラルを断ち切る事を進める時だと感じます。畜産業界全体が良くなるよう各々が考え、自分のコンプライアンスを相手に押しつけない構造を考えるべきだと考えます。

畜産物価格や畜産物を取り巻く環境が悪化し、良くない状況が続きますが、配合飼料も今年度4-6月期から3-4半期連続の下げとなり、飼料メーカーは毎回高い在庫原料を抱えざるを得ない厳しい状況の連続となっていました。今の環境で畜産農家に協力援護できる体力を維持していく事が重要な事だと感じています。

上記の様な環境下ではありますが、当社と致しましては引き続きマルトグループの経営理念であります『国内畜産の未来をひらき、食卓に信頼をお届けする』に基づき、「安全」で、「安心」して、「健康」を考え、「美味しい」という言葉をお客様からいただけるように取り組んでまいります。また、オンラインワンを自負できる当社の仕組である『飼料の製造から家畜の育成、畜産食品の加工・販売まで』を一貫して見届け、生産者や消費者の皆様のニーズに幅広く耳を傾け、素早く反応し、より多くの方を笑顔にできるマルトグループであるように取り組んでまいります。

# 新年のご挨拶



丸トポートリー食品株式会社

代表取締役社長

平田 享司



明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方に変にお世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年は超大型の台風15号、19号による前例の無い暴風雨で各地に被害が出ました。弊社でも、9月9日の台風15号で、関東支店の工場や直営農場を始めとした各農場で停電や断水になり、大きな被害を受けました。ライフラインが回復するまで、数日間の営業を休止せざるをえない状態になりました。長時間にわたる停電により、工場内の冷蔵庫と冷凍庫内の商品を廃棄せざるを得なくなり、また鶏舎の換気不良や自動給餌器の停止、屋根の損壊等で出荷間際の数万羽の若鶏が斃死する事態にもなりました。

従業員やその家族に、大きな被害がなかったことだけがなによりでしたが、停電の影響もあり、災害備蓄品として用意していた水や乾パン、電池などを初めて職員に配給しました。今後の災害時の対応として、委託農家や契約農家とも発電機の設置や災害保険の契約内容について再確認していくようにします。

ここ数年来好調であった鶏肉業界でしたが、新たな農場設備投資や工場の拡張で供給過多になり、価格競争を招くようになりました。弊社では、経営体質の強化を図る為に、価格に影響されにくい海外市場にも注力しています。本年から「愛知県食品輸出研究会」に会員登録して、愛知県内の食品企業様とも提携しながら、輸出強化の為に現地での展示会に力を注いでいます。従来は、レストランの業務用原材料としての海外展開でしたが、市場の求める直ぐに食べられる海外向け加工品の商品開発を行い、拡販につなげていくようにします。現在は、「日本食鳥協会」と協力してカンボジア国内でも販売出来ることになりました。皆さんも旅行等訪れる際には、現地のレストランで「名古屋コーチン」や「錦鶏どり」を食される機会もあるかと思えます。

昨年は九州の大規模処理場を視察致しました。井の中の蛙にならぬよう、同業者の優れた点を学びながら、独自の路線を確固たるものにして行く所存です。引き続き、働き易く楽しい会社作りを目指して行きますので、今後ともご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。



# 新年のご挨拶



丸ト鶏卵販売株式会社

代表取締役社長

棚橋 勉



明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方に大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、9月初めには台風15号が関東を直撃し、千葉県を中心に住宅被害3万棟超、大規模停電の異例の長期化、断水、通信障害等、未曾有の災害となりました。また農林水産業での被害額は1,820億円に及び被災者の皆様には心よりおくやみ申し上げますとともに早くに復興出来ますことをお祈り申し上げます。政治の面では終わりの見えない米中の覇権争いの貿易摩擦戦争による景気悪化の発生、日本製品の不買運動と極端な訪日観光客の減少が続いています。韓国の徴用工訴訟での日本企業資産売却による現金化で日韓の決定的な関係破綻の懸念、日米貿易協定締結により今年発効後には米国产牛肉価格が下がり、外食産業は大きな恩恵を受けるものの国内生産者は厳しい競争にさらされることになりそうです。また米国の自動車関税の撤廃は継続協議になり、手ばなしでは喜べない状態の不安定な1年でした。

我々の業界はと言いますと一昨年からの増羽による生産過剰から鶏卵相場の初市価格が100円/kg(M加重)のスタートとなり極端な低卵価に

# 新年のご挨拶



株式会社パートナーズ

代表取締役社長

福原 康人



新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方に大変お世話になり厚く御礼申し上げます

昨年を振り返りますと、一昨年以上に異常気象がより当たり前になった年ではないかと思えます。弊社の位置する千葉県では台風15号に始まり、台風19号、台風21号による大雨等、その全てにおいて大きな影響を受けました。特に台風15号では強風により鶏舎が倒壊し、長期停電により鶏へ大きな影響を受けました。そんな中各事業所に於いて従業員の皆さんが不眠不休で対応してくれたことは、大変ありがたく、頼もしく感じました。また、グループ各社の皆様の応援を頂き、グループの有り難さを強く感じました。昨年の災害を教訓とし、異常事態が通常何時でも起こることを念頭に準備し、対応する力を身に付けてまいります。

今年は十千十二支(十千で7番目、十二支で1番目)で「庚子(かのえ・ね)」です。

子は本来「孳」という字で、種子の中に新しい生命がきざし始める状態を指し、子年は新しい運気のサイクルの始まりだそうです。2020年は変化が生まれ、新たな可能性が生まれる状態の年なので、新しいことにチャレンジするのに適した年といえるそうです。

苦しんだ年でありました。1月～6月157円/kg(M加重)、7月～10月171円/kg(M加重)と11年前の2009年の相場に近い厳しい相場展開となりました。

ありがたいことに国内の鳥インフルエンザは一昨年1月の発生を最後に発生していません。全国の生産者が防疫に努力した結果であり、今後とも気を緩めずに防疫に力を入れなければなりません。また2018年度1人当りの鶏卵消費量は337個でメキシコに次いで2位だそうです。2017年度より4個増えているので、40万トン消費量が増えたこととなります。一昨年の12月以降は雛の餌付け羽数が減っていますので、適正な鶏卵相場が期待され健全な業界になることを願わずにはられません。

当社は昨年11月に食品衛生優良施設として愛知県知事賞を受賞いたしました。今年も安全・安心な鶏卵を販売し、お客様に絶大なる信頼を得られるよう努力して参ります。皆様方と共に、良い年になりますように期待致しますとともに皆様様の更なるご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

前回の庚子(1960年)はどんな年だったのか調べてみると。

2月23日に天皇家に徳仁親王(今上天皇)が誕生しました。4月には「ダッコちゃん」が発売され大ヒットし、巷にはダッコちゃんを腕に絡ませる女性が多く出現しました。9月には日本でカラーテレビの本放送がスタートしました。当時は白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫の「三種の神器」がようやく普及してきた頃です。12月には池田内閣の下で策定された「所得倍增計画」が発表され、10年間に実質国民総生産を倍増させることを目標に掲げましたが、その後日本経済は計画以上の成長に至りました。今の成熟した世の中とは全く違った、活気に溢れた世の中が想像されます。

「庚子」の今年、弊社は養鶏場の復旧・GPセンターでの新しい取り組み等、経験したことのない新しいことにチャレンジしてまいります。本年も皆様方の相変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





# アメリカ穀物協会2019年「トウモロコシ米国視察」に参加して

**エタノール工場**

アイオワ州にあるPOET社とネブラスカ州にあるEエネルギーアダマス社のエタノール工場では設備によって異なりますが、エタノールを生産する際、とうもろこしの3分の1がエタノールになり、その他は3分の1がとうもろこし蒸留粕、残りの3分の1が二酸化炭素として排出されるそうです。発生したとうもろこし蒸留粕は、飼料原料として使用されますが水分が高く保存が

**とうもろこしの生産者**

アイオワ州にあるピアース家族農場、ネブラスカ州にあるラリー・ムサツク農場、ウエス・ドーン農場の3農場では、巨大な重機を用いて広大な農地を管理していました。重機はGPSによる自動運転が可能で農地管理の簡略化が図られていました。あらかじめ土地の栄養状態と水分状況を調査し、土地に合った適正な複数の品種を同時に播種する事が可能となっています。エリア毎の収量も記録する事が可能で、土地の状態と品種、収量のデータを蓄積し分析する事で更なる収量向上に役立てているとのことでした。

ネブラスカ州のウエス・ドーン農場では、ご厚意により実際に収穫用の重機に乗せて頂きました。重機内部には液晶端末が設置されており、農地や収穫の状況がリアルタイムで表示されていました。

**穀物の保管と輸送**

アイオワ州にあるランドス協同組合で搬出を行う貨車は、1本で110両、42万ブッシェルの穀物を積載可能で、この貨車1本に15時間で穀物を積み込むことができる施設を有しているとの事でした。セントラル・バレー・アグは施設を開く様に線路が敷かれていて搬出用の貨車が1本待機する事が可能になっています。どちらもコンクリートや金属製の巨大な保管ビン複数有しており、収穫直後の時期にはグラントパイルと呼ばれる仮設の保管設備も使用します。周辺の農家が生産した

効きません。近隣の畜産農家で消費される他、乾燥させ遠方へ運ばれる事もあります。日本でもDDGSとして配合飼料の原料に使用されています。

POET社では、特別な製法によりエタノール生産を行っているとの事でした。生産されるDDGSは他の物より栄養損失が抑えられ、配合飼料の原料として高い価値が得られるそうで、「ダコタゴールド」というブランドで販売しているそうです。

見学した工場はとうもろこしの生産地近くにあり、近場でとうもろこしを集めエタノールの生産を行い、近隣の畜産農家でとうもろこし蒸留粕を使用するというサイクルが出来ていました。

**最後に**

今回の視察研修では、とうもろこしがどのように生産され、どの様に日本に運ばれてくるのかを目で見て知ることができました。驚きの連続でした。また今回訪問した2社のエタノール工場では将来的にセルロース原料でのエタノール生産を目指しているとのこと、環境にも配慮している点では個人的に興味もわきました。穀物の生産や輸送システム、育種改良、エタノールとDDGSの生産など理解を深めることができた今回の経験を今後の営業活動における配合飼料の説明などに活かせる様にしていきます。

文＊ 関西営業部 島尻 純一

2019年9月15日から22日までの8日間、アメリカ穀物協会が主催する「トウモロコシ米国視察」に参加しました。

アイオワ州、ネブラスカ州、ワシントン州の3つの州にてとうもろこしの農場、牛の肥育農家、エタノール工場と飼料工場、穀物の保管と輸送を行う企業、農業機械や品種改良を行う企業、穀物の輸出港などを視察させて頂きました。

飼料メーカーと全農から4名が参加し、アメリカ穀物協会の1名を含む5名での視察研修でした。



ピアース家族農場にて



ピアース氏よりとうもろこしの生育状況説明



重機に乗せてもらい記念撮影  
ウェス・ドーン農場にて  
重機内部の液晶パネル

## 米国視察



Eエネルギーアダマス社にて



POET社にて 外観写真



保管ビン外観  
ランドス協同組合にて



記念撮影



受付の社名プレート

港の模型

TEMCO社にて

港の外観



セントラル・バレー・アグにて

貯蔵設備と敷地外周に敷かれている線路  
保管ビン等設備外観



# 「FSSC22000認証」 について

Close  
Up!

(株)パートナーズ関東GPセンターは千葉県市原市に日量50t以上の鶏卵を扱う最新鋭の機械が整ったGPセンターとして2017年5月より稼働を開始しました(2017年7月号にて紹介)。2019年1月より食品安全における最高レベルの規格であるFSSC22000認証を目指し2019年8月に取得する事が出来ました。



FSSC22000認証

## FSSC22000とは

2018年6月に改正食品衛生法が可決され、HACCPの制度化決定に伴い耳にすることが多いと思います。

FSSC22000はISO22000をベースに、より確実な食品安全管理を実践するためのマネジメントシステム規格です【図】。まずHACCPは、食品製造工程のどの段階でどのようなモニタリングとコントロールを講じれば、微生物や異物混入などから食品への汚染を防ぎ、より安全な食品を作る事が出来るかを定め、継続的に検証、改善することで食品の安全性を確保する食品安全管理の国際基準です。そして、ISOは顧客満足向上や様々な製品・サービスの世界標準化をする為、国際標準化機構が定めたもので、品質マネジメントシステムを対象にした規格にISO9001があります。

これらHACCPとISO9001を合わせ、生産から消費までの全工程における食品安全の仕組みづくりを目的とした規格がISO22000です。

ISO22000でも食品安全への運用として十分ですが、社内基準が基となるISO22000に対し取引先からの要望や海外市場への取り組み強化、更なる食の安全・安心を強固にする為に、衛生的な製造環境維持の手段・管理項目が定義されたFSSC22000が求められるようになってきました。特にハード面への要求が強く、製品汚染に対する建屋の構造や使用水・空気の流れ、購入材料の管理、有害生物の防除、施設のアクセス管理等が盛り込まれています。更に、追加要求事項として食品安全を脅かす偶発的なものや意図的な事案について評価し、管理手段を導入することが必要になります。



## 取得のメリット

鶏卵業界ではまだ取得が少なく、もともと運用していたISO22000でも良いのではとの意見も出ましたが、FSSC22000認証を視野に建てられたGPセンターでもある事から取得を目指しました。

新たな規格取得に向け、2種類のメリットを掲げました。

### 対外的メリット

- 顧客や消費者、取引先に安全・安心な製品・サービスの提供をすることで、信用と信頼が獲得でき、海外への参入機会もできる。
- 食品安全管理のレベルが向上し、企業価値及び顧客による監査の円滑化が図れる。

### 会社にとってのメリット

- 食品安全に害を及ぼす可能性の明確化により工程トラブルや製品回収リスクを低減できる。
- 原料卵から資材発注先、インフラ関係や配送・納品業者、納品先等の全体の管理ができる。
- 従業員のモラル、衛生意識、品質、安全に対する意識を向上させることができる。



## 取り組み内容

主な取り組み内容の一つとして、フードディフェンス(食品防御)への対応があります。どんなに仕組みを整えても、悪意の行動はあり得るとの前提での対策洗い出しが一番困難でした。意図的な食品汚染について可能性が多く、深く考えさせられましたが対策の一部を紹介します。



### 人的要因として

- コミュニケーション: 面談及び意見箱の設置により、風通しの良い職場環境を作る
- 従業員教育・意識付け: 外部講師による1ヶ月に1回の衛生講習
- 持ち込み制限: ポケットの無い作業服
- 薬剤管理: 薬品庫の鍵管理、使用量の記録

### 施設管理として

- 工場建屋内への管理: 静脈認証及びインターフォンカメラでの施錠管理
- 製造区域内のアクセス制限: 交差汚染防止の為施錠管理
- 敷地内インフラ関係: 扉の常時施錠及び貯水タンク、配電設備の施錠、バルブ類の固定
- 工場内外管理: 植栽の手入れ、雨水排水状況、定期的な巡回、安全安心カメラの設置

## 取得後の変化

新たな取り組みという毛嫌いされますが、安全で安心な卵を食卓へ届ける為に必要な取り組みであると認識された結果、従業員一人一人の意識が上がり取得に結び付けました。今後も安全安心への意識が一段と高まる環境作りを従業員みんなで考えていきます。

新たな海外向けや季節商品、プロ野球球団とのコラボ商品等が始まり、従業員の士気が上がっています。この取り組みを通して、お客様から「パートナーズの商品だから安全で安心」と言ってもらえるのがなによりうれしいことです。

